

鹿部町地域おこし協力隊通信

地域おこし協力隊 今泉 欣也 隊員

▼Profile

いまいずみきんや
群馬県出身。2019年
8月に鹿部町へ移住。
トランペットとロー
ドバイクが好きなア
ラフィフ。

▼instagram



ずっとお世話になってきた活動拠点、本別中央会館を出て、8月末に協力隊の有志3名と事務所を構えました。鹿部町の商店街を元気づけられればと、DIY初心者達で少しずつ、改装をしています。立地が良いため、仕事をしていると通りすがりの知人が気軽に寄ってくれたり、声をかけたりしてくれるのがとても嬉しいです。この場所が「住民の方やこれから移住してくる新たな地域おこし協力隊員が集い、地域の未来を語り合う場になれば」と期待しています。

さて、先日、立ち上げに関わらせていただいた「歴史・文化を活かした南北海道サイクルツーリズム推進協議会」のメンバーで、駒ヶ岳を一周するルートの検証をしました。このルートは自分で作成したコースと同じで、大好きな駒ヶ岳を大沼経由で、ぐるっと一周するルートになっています。道外から新幹線で来る、または道内から電車で来る観光客をターゲットにしているので、スタートは新函館北斗駅から。大沼を経由していざ鹿部町へ。大沼からは下り道が多いので快適です。最初の立ち

寄りどころは鹿部飛行場へ。駒ヶ岳が綺麗に見えるので皆で写真撮影を楽しみました。その後は役場新庁舎の外観を見学して、道の駅しかべ間歌泉公園の浜のかあさん食堂でランチタイム。皆から「美味しい！」の一言をいただけ嬉しい限り。その後はひょうたん沼公園、森町砂原を経由して、国道5号線を少し通り、再び大沼へ。鹿部から大沼までのこのルートは快適な道なのですが、長い距離ゆるい登り道で少し足にきますね。焦らずマイペースで時に休みな

がら走れば乗り越えられる感じですが、大沼だんごが有名な沼の家で小休憩して、七飯の道の駅に立ち寄り、新函館北斗駅にゴールしました。大体100kmくらいなので走行距離なので、一日で走るのであればロードバイク中級くらいの足が必要かなと感じました。各町から見える駒ヶ岳の形がそれぞれ違い魅力的でした。もちろん車や自動2輪でもおすすめのコースですので、紅葉の綺麗なこれからの季節、是非お出かけしてみてください。他には南茅部経由もおすすめていますので、こちらも作成中です。

【参考】RIDE with GPS「新函館北斗駅発、駒ヶ岳一周ライド・七飯町〜鹿部町〜森町」



▲Ride with GPS

【注意】…スタートの駅から大沼トンネルを越えるルートですが、自転車の場合は反対車線の歩道を走ってください。そうしないとトンネルを抜けて大沼方面に右折できません。

鹿部町に住んで3年目。まだハンバーガーを食べてアメリカ全体を知ったような事は言えませんが、町の賑わいに寄与できるコトを経験を生かしながら提案していきたいと考えています。



▲協力隊有志の事務所

給湯も SUNPOT 暖房も メーカー希望小売価格より

ボイラー 50% OFF!!

各種 12月31日迄

※工事費別途

お部屋あったか!

外国品 ほかほか!

見積無料

亀田郡七飯町 字大沼町817-4 ☎ 0138-67-2250

※ホームページからのお問合せもOKです! ワタナベ電器 大沼 🔍 検索

(広告)